

令和4年度入学式

4月7日第17回目の入学式を挙行了しました。コロナ禍により通常通りの式典とはなりませんでしたが、保護者の方の参列、2・3年生はリモートにより各教室で見守る形式で実施しました。

令和4年入学生は国際科から水産科に学科改編を行った最初の入学生となります。校名・科名は変更ありませんが、教育内容は国際から水産に大きく変更となっております。1クラスの定員も40名から35名となり、少人数での専門教科の学習を行っていきます。



実習帽変更

今まで使用していた白い実習帽から風通しの良い素材のものに変更しました。

通学生も寄宿舎の弁当が食べられるようになりました(経営企画室長)

通学生の昼食について、希望される方に赤弁を提供させていただいております！

【経緯】今年の3月に卒業された島生の方ですが、生徒さんご自身が毎日お弁当を作っていました。「島生も赤弁食べられたらいいな」という声がありました。また、他の保護者の方からも「毎日お弁当作りが大変」という声がありました。

民間企業では当たり前ですが、我々経営企画室は「顧客第一」主義です。生徒様・保護者様の声に真摯に耳を傾ける。自然と「じゃあ島生の方々にも希望制で赤弁提供しようよ♪」ということになりました。

【今後】お話はガラッと変わります。本校、本校舎・寄宿舎ともに老朽化が進んでいます。生徒様の言葉を借りれば「オンボロ校舎(&寄宿舎)何とかしてください！」ハイ。申し訳ありません。色々なところが壊れてその頻度も短くなってきています。今すぐに改善するのは難しいかもしれません。今後も生徒様・保護者様の声を大切に様々な事業に挑戦して参ります。今後ともどうかよろしくお願い致します。



大島丸見学会

6月に大島の小中学生を対象に大島丸見学会を実施しました。つつじ小学校、さくら小学校、第一中学校の生徒さんが来てくれました。大島丸の船内見学をはじめ、プランクトン観察、操船シミュレーション、ロープワーク教室を体験してもらいました。



カッター新艇

2 艇のカッターが竣工しました。新しい艇は雨水が溜まらず排出される構造なので今まで降雨の後必要だった「あかくみ」がなくなり、管理の手間が省けるようになりました。

1 号艇はマストを立て、帆走することができます。5 級海技士養成の実習として活躍する予定です。



遠征報告 カッター部(カッター部顧問)

関東東海地区カッターレース大会の結果と全国大会に向けて

6 月 12 日(日) 静岡県焼津市で関東東海地区カッターレース大会が行われました。参加校は本校と焼津水産高校、三谷水産高校の 3 校でした。昨年度に比べると練習日数を確保できていたため自信を持って臨みましたが、結果は残念ながら 2 戦 2 敗で最下位でした。

敗因は練習量の差と試合経験の無さだと思われます。会場で対戦した対戦校のクルーは本校クルーと比べて真っ黒に日焼けしていました。また、この 1 年間は 1 度も対外試合ができなかったため、日頃の練習の漕ぎでも試合に向けた必死さが足りなかったことが分かりました。

本来であれば予選落ちで 3 年生は引退でしたが、今年度はコロナの影響もあり関東東海地区大会の参加校が少なかったため、全国大会への出場は可能となりました。このチャンスを生かし、全国大会では良い成績を残せるように頑張りたいと思います。



第一学年遠足(一学年主任)

6 月 29 日、1 学年の遠足は大島火山博物館と動物園を訪問する「少雨バージョン」で実施しました。

火山博物館は「来るのをすごく楽しみにしていた」と言ってくれた生徒がいてとても嬉しく思いました。普段は 11:00 から上映される大島の火山活動に関する映画があるのですが、この日は火山博物館の方々が特別に本校が訪問する時間帯に合わせて上映してくださいました。私も初めて見たのですが、大島の成り立ちや三原山の構造だけでなく、島に咲くオオシマザクラやヤブツバキなどの木々や草花さらに集まる動物と火山が作った地形・地質との関係、それら動植物を楽しんだり利用したりする人々の暮らし、さらに海の環境や遠い未来の大島の姿など、様々な側面から大島を解説した学びの多い内容、そしてとても美しい映像でした。上映館内は広々とした空間で生徒たちはゆったりと楽しく鑑賞していました。

動物園は、自然の地形を利用した散歩道の経路になっていますから、のんびり歩いたり、鳥の声を真似したり、追っかけっこをしたりと思いつきのペースで園内を回りました。ライオンやパンダこそいませんが、フラミンゴやワシ類をはじめとする様々な鳥、



カピバラ、レッサーパンダ、ラクダ、陸ガメ、カモシカ、メガネザルなど、なかなか見ごたえがあります。

昼食は大島温泉ホテルで、続いて入浴時間を設けました。厨房の方の「ごはんのおかわり自由」の声掛けに食欲旺盛な生徒たちが張り切っておひつ前への行列を繰り返し、「すみませんがおかわりはこれで最後です。」と厨房の奥から最後のおひつが登場してカラになるまで続けました。

温泉は男女とも前後半の2班に分かれて入ったのですが、1班の持ち時間が40分あり、「久しぶりにゆっくりお風呂に浸かれる」と喜んでいる寮生を見て嬉しいような切ないような気分になりました。コロナ禍でなければ寄宿舍の入浴時間は本来ゆとりがあるのですが。

入浴後はホテル売店の一角にあった大島牛乳アイスクリームがみるみるうちに売り切れしました。これも旅行で興奮しているからなのでしょうか、生徒の人数分くらいはストックされていたと思うのですが、一人で2つも3つも食べている生徒が見受けられました。

帰りのバスはお約束通り静かな道中でした。遠足を無事終えられほっとしています。実は前日まで「晴天時バージョン」の三原山ハイキングを楽しみにしていた生徒も多かったのですが、強風と霧が予想されたことと直近に体調を崩していた生徒が何人かいたことから今回は「少雨バージョン」としました。結果的に友達との遠出を1日楽しんでいただけた生徒の姿を見ることができ嬉しく思います。

第二学年日の出浜遠足(二学年主任)

2学年の遠足は、日の出浜周辺での一日班行動。浮き輪やボール、網やバケツ、釣り竿などを持ち込み、良く晴れた青い空と美しい海の中へ。少々風が強く、6月の海は冷たかったですが、ほとんどの生徒が足の着かないところまで泳いでいました。



授業でのトウシキ以外の大島の海に入ったのは、みんな初めてだったのでは。

他にも、浜でバレーボールをする生徒、飛び込みをする生徒、砂に埋められる生徒、海の生物を採取する生徒、栈橋で釣りをする生徒、町を散策してカフェやごはん屋さんに行く生徒、波音を聞きながらゲームに興じる生徒など、それぞれが大島の自然や文化を満喫しました。

第3学年式根島遠足(三学年主任)

3年振りに、白い砂浜にエメラルドグリーンの海をたたえた式根島に、遠足で行くことができました。新型コロナウイルス感染症が、いつもB棟から見えるかの島から、これほど遠く我々を隔ててしまうとは夢にも思いませんでしたが、とにかく再びかの地の土を踏むことができ、感無量でした。

実は、到着した瞬間には何の感慨もなくただただ気分が悪く、吐き気を抑えるのに精一杯でした。というのも、当日の海は晴れはしたものの



風が強く、沖には白波が立つほどの荒れ模様だったからです。チャーターした連絡船にしきは揺れに揺れ、乗り物に弱い私は 75 分間横になっているだけで何もできませんでした。私に輪をかけて乗り物に弱い佐藤義幸先生は生ける屍と化したほどでした。乗船実習で鳴らした生徒の中にも気分を悪くするものが複数いて、それはそれは、「阿鼻叫喚の地獄絵図」とはこういう場合の形容句であるとしみじみ思ったものです。

ようやくたどり着いた式根島はしかし、好天に恵まれ、我々を歓迎しているかのような居住まいでした。生徒たちも海水浴を堪能し、秘境感満載の海中温泉を満喫し、笑顔と笑い声を振りまいていました。また、各展望台からは雄大な景色を楽しむこともでき、少し角度が変わると見慣れたはずの伊豆半島の佇まいも、バルト海から臨むスカンディナヴィア半島と見紛うばかりに新鮮なものでした。植生は大島とそれほど変わらないはずでしたが、見慣れない芋虫がどこの枝からもぶら下がっていたり、海の色も全く違っていたり、レンタルサイクルを駆り、東西 4・5 km、南北 2・3 キロの島内を所狭しと駆け回って、“近いのに遠い島”・“似ているのに全然違う島”を味わい尽くした 1 日となったのではないのでしょうか。



帰路の揺れは往路の跳ねるようなものとは異なり、左右にねじれるようなもので、また違った負担が我々の臓腑を襲ったものでした。それでも、往路に比べると幾分楽に感じられ、佐藤義幸先生も正体を保ち切ることができました。「艱難汝を玉にす」という言葉の真意を得た心持ちです。それにしても、本校の実習船なら操船実習は絶対に中止する海況の中を、無事に我々を式根島へ往復させてくださった連絡船にしきの船員のみなさんにはいくら感謝しても足りません。また、暖かく我々を迎えてくださった式根島の方々、風は少し強すぎましたが良好であった

お天気にも改めて、すべからく謝意を申し上げるべきでしょう。最後に、あの狂気のような動揺の中で、普段と変わらず生徒への指導をされていた北原・伊藤の両水産科先生の逞しさは圧倒的でしたし、ほとんどの生徒たちも“荒天荒波何するものぞ”の気概たっぷりに往復 2 時間半の航海を乗り切ったのは流石でした。尊敬の念を禁じ得ません。

マリンスポーツ系課題研究

3 年マリンスポーツ系 11 名対象に日本赤十字水上安全法の講習を行いました。CPR などの基礎講習と水上安全法救助員養成講習を受講しました。将来海上での活動で周囲の人の安全に貢献できる人材育成を目指しています。



新着任紹介

○寄宿舍栄養士

本年度着任いたしました栄養士の横田です。大島は今年で 4 年目になります。

仕事内容としましては、1 日 3 食ある賄いの献立作成をしています。旬の食材、地場産物なども活用し、バランスのとれた食事を提供しています。

